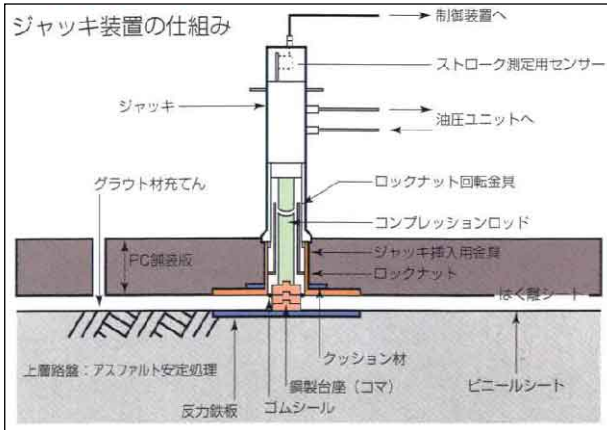


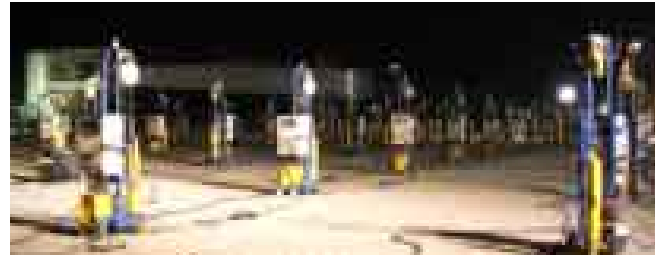
リフトアップ工法

リフトアップシステム



空港エプロンはある程度の勾配が必要です。勾配は1%以上の場合停止した飛行機の再滑走を妨げ、0.5%以下の勾配では水はけが悪くなり、水たまりが出来てしまいます。従って、常に0.5%~1.0%の勾配が保たれている必要があります。

リフトアップ工法は沈下した空港舗装版の勾配修復システムです。コンクリートの養生のため1ヶ月の閉鎖が必要な従来の修復工事と異なり、昼間は供用でき、夜間工事で安全かつ急速に施工することが可能となります。



特長

- 夜間工事だけの作業で空港閉鎖の必要がありません。
- 完全にしかも急速に施工することができます。
- 管理法が自動化されており省力化が図れます。
- 大規模工事に適しています。
- 繰り返し施工が可能です。
- コンクリート表面のマーキングがそのまま使えます。

標準作業プロセス

各工程をクリックすると図が表示されます。

沈下状況の測量

ジャッキアップ

グラウト注入

完成

